

HISTORY OF SANEI

# サンエイ物語

— SINCE 1946 —



第1話

武田文具店の頃

～創業と転機～

株式会社 サンエイ



## ごあいさつ

私達、株式会社サンエイは昭和21年1月創業、昭和38年7月株式会社設立以来、地域の数多くの皆様に育てていただき今日に至っております。先ずは厚く御礼申しあげます。

現在私達は「トータル・オフィス・サポート」を合言葉とし、お客様のオフィスにおける幅広いニーズに、情報力、技術力、提案力、メンテナンス力、商品力、価格力等含めた総合力のあるサプライヤーとしてさらにお役に立って参りたいと努力を続けております。そんな私達のエネルギーの源は、仕事を通じお客様に喜んでいただき、感謝していただけること。そして私達自身がお客様に感謝し、仕事に感謝する「ところ」を持ち続けることではないかと思っています。

この度、マン画版の社史をつくることになりましたのは、私達社員一人ひとりがこれまで決して平坦ではなかった当社の歩みを知り、また如何なるときも必援し、助けていただいた多くのお客さまへの感謝の念を新たにするためです。

あわせてご覧いただくお取引先の皆様には、恐縮ながら私達のこれから先の仕事に対する「思い」や「約束」を少しでも共感いただければと思っております。手前勝手な内容もあるかとは存じますがご容赦いただき、お時間があれば目を通していただければ幸いです。

平成16年2月吉日

株式会社サンエイ

代表取締役 武田清人

## 1話の主な登場人物



武田 清人（武田文具店創業者）

持ち前の明るさと販賣店で鍛えた接客力でお得意様のウケは抜群。当時から工夫を凝らした営業で売上げを拡大した。しかし、その人の良さが後輩人気な失敗となる。



武田 保枝（清人の妻）

物語にはほとんど登場しないが、既に店と家族を支えた功労者。厳しくも優しい、典型的な自妻貞淑タイプ。苦勞が多く、会社の発展を見届けることなく古くして他界。



武田 三樹雄（二代目・現会長）

肩担するまで、大阪浪商高校で教鞭をとる。商売をするなど思ってもいなかった。基本的に羨ましい。ピンチになると腕力を發揮するタイプか。

『英語教科（株）』を設立する。



武田 綾子（三樹雄の妻、清人・保枝の一人娘）

何しろガンバリ屋。店の切り盛りだけでなく、後に資金繰りを一丁に背負う。銀行との交渉に手腕を発揮する。やはり、ピンチで力を發揮するタイプ。

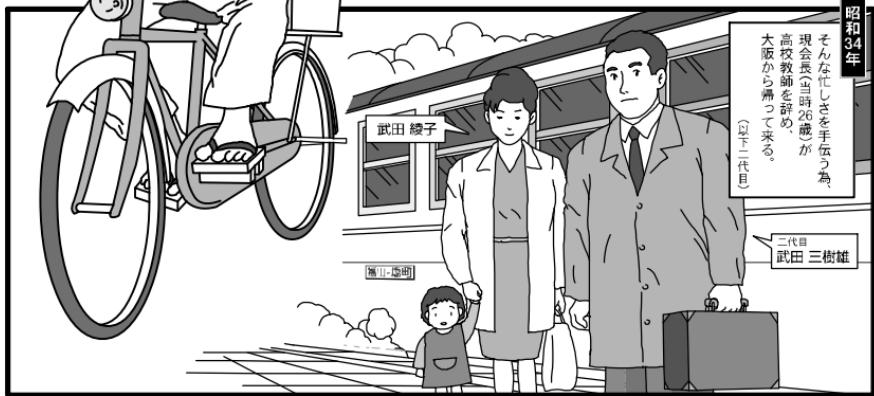


戰勝中の物資不足の中、衣料は配給制となり農業を余儀なくされた創業者・武田寅人は武田文具店から「武田文具店」に業種転換する。





創業者は積極的に配達を行ない、当時のお客様は店舗を二箇所、うち一つを占めていたという。



昭和34年

そんな忙しさで手伝う現会長(当時26歳)が高校教師を辞め大阪から帰つて来る。



CB92(125CC)と二代目

この年、大事件が起る。  
好調な業績を背景に、  
先代の会社の保証人を  
引き受けている。  
その会社が倒産したのだ。

えつ  
あの会社が  
まさか  
倒産！

